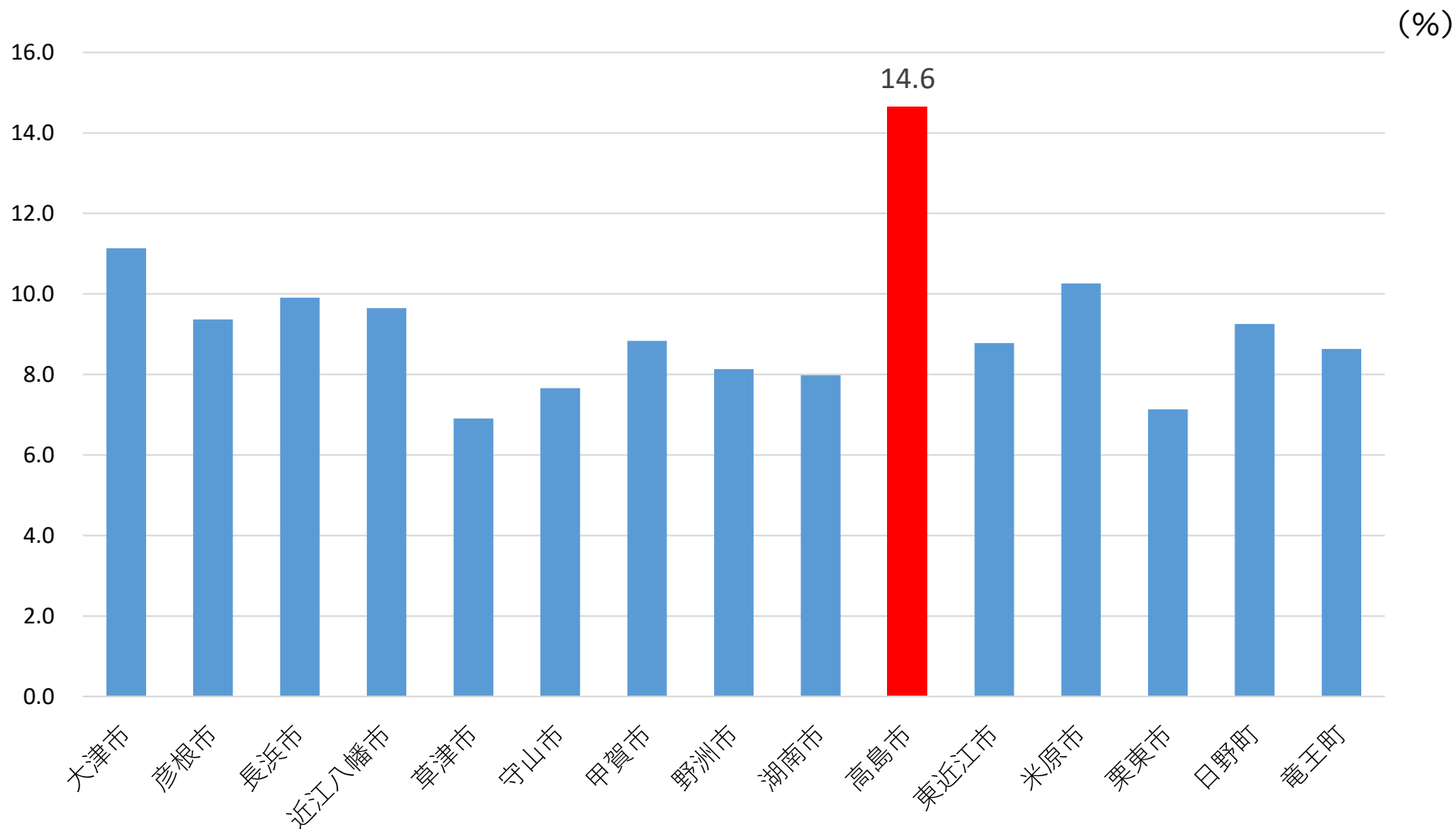


テーマ：

～高齢者の課題を解決するために、
地域包括支援センターは何をすべきか～

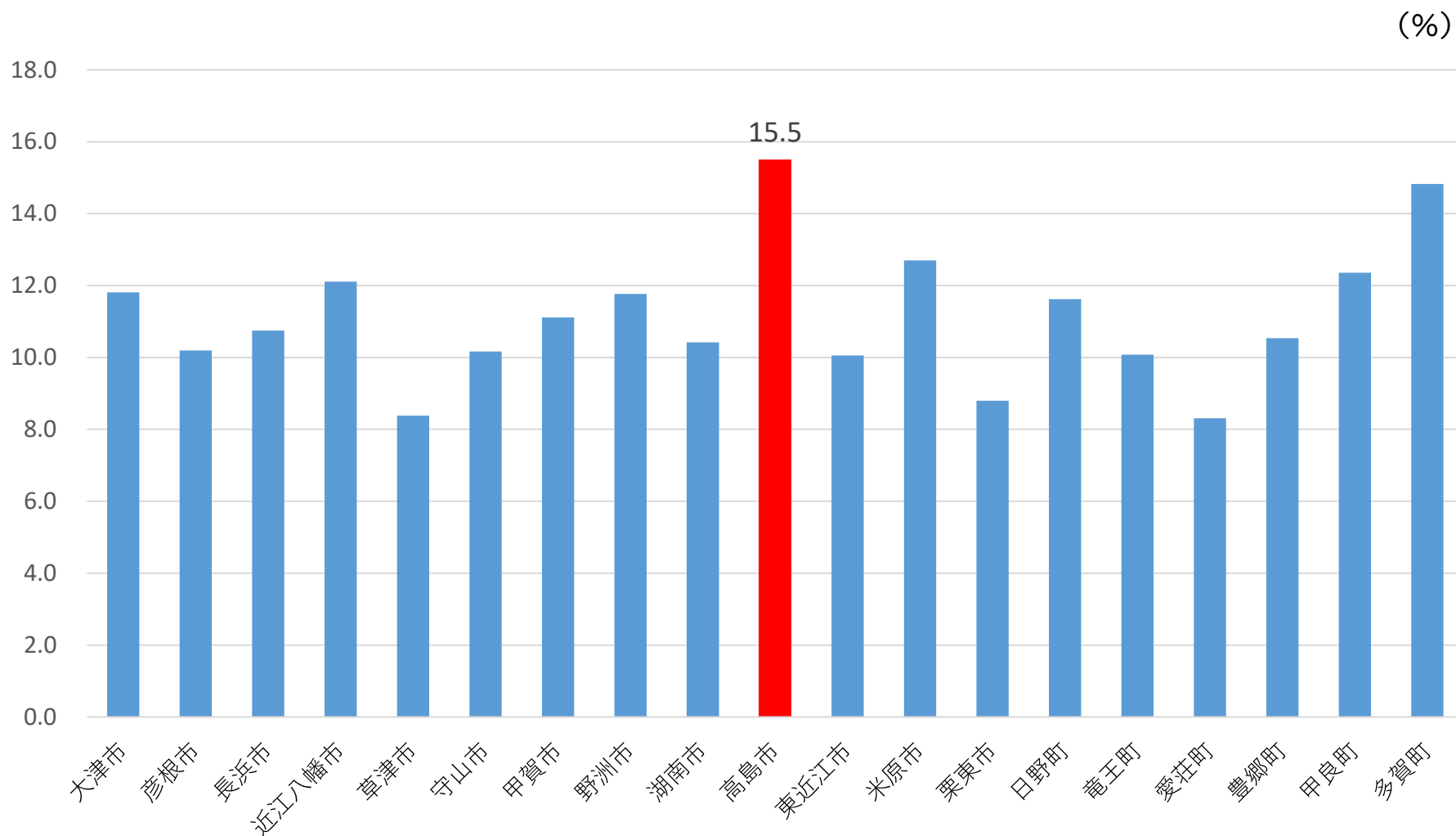


【独居高齢者の割合】



出典：介護保険「見える化システム」2020年次データ

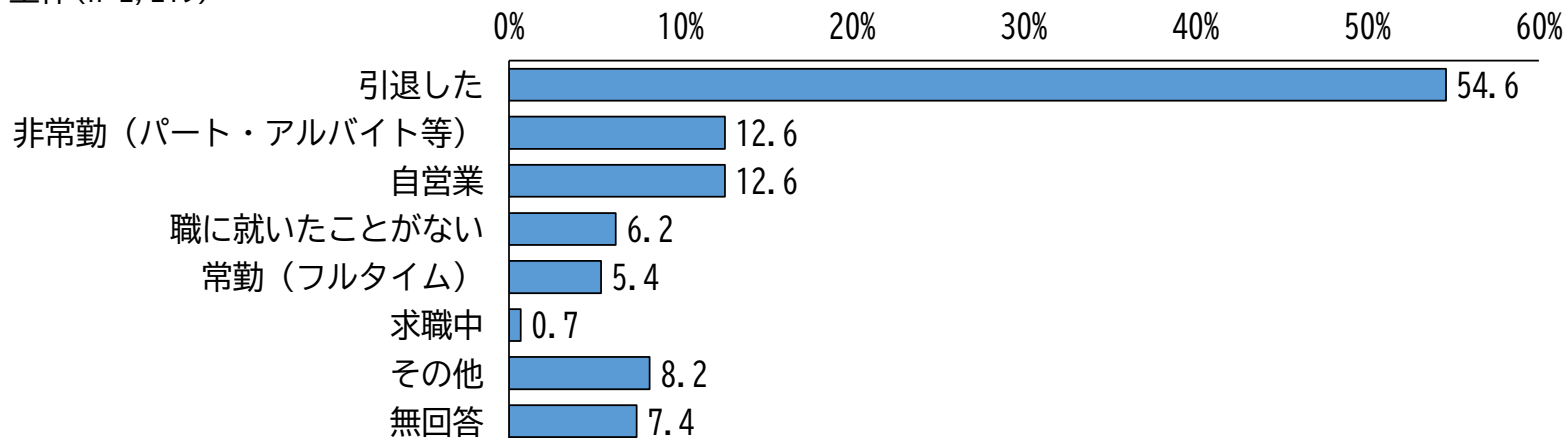
【高齢夫婦世帯の割合】



出典：介護保険「見える化システム」2020年次データ

【高齢者の就労状況】

全体(n=2, 219)



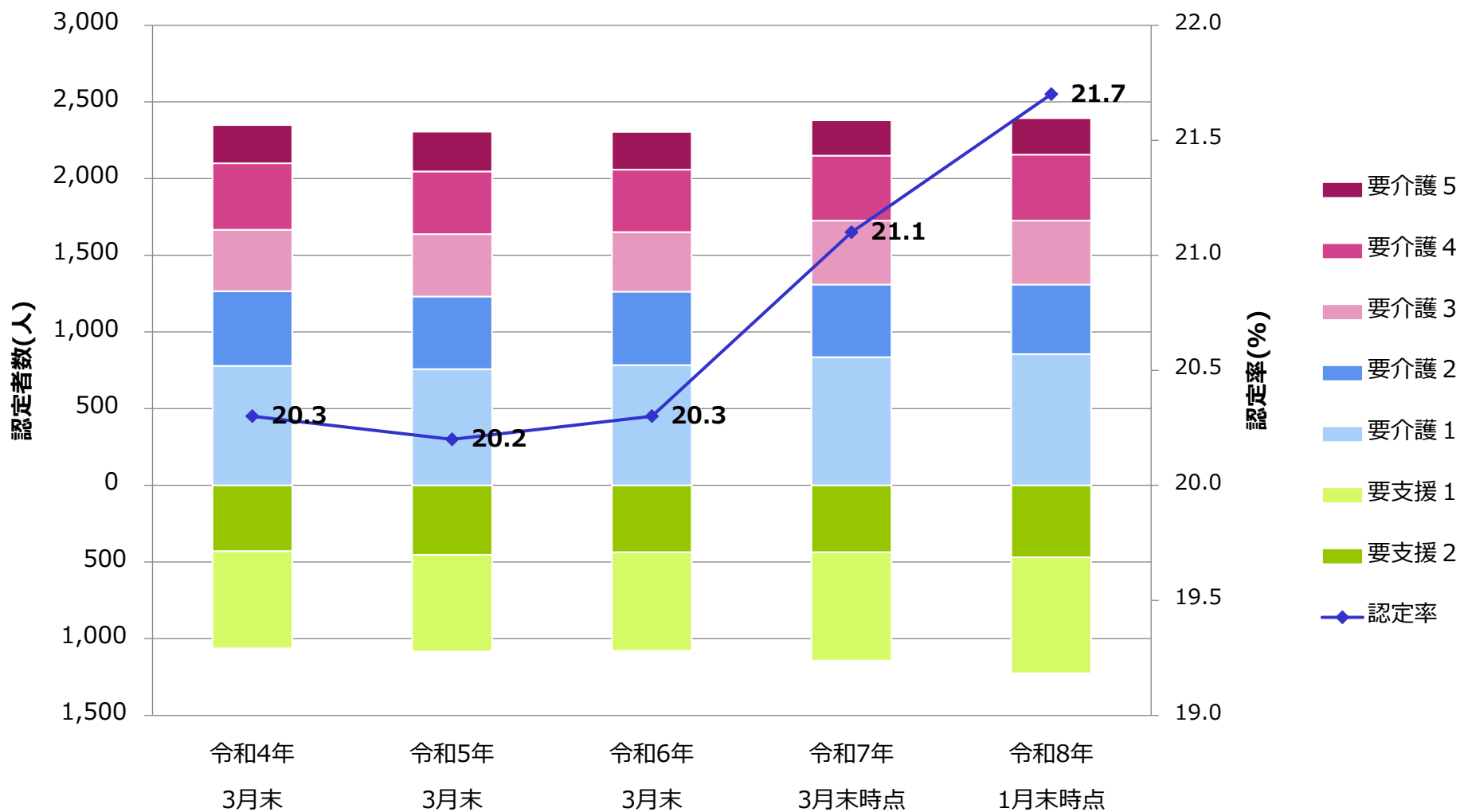
単位：%

		引退した	非常勤 (パート・アルバイト等)	自営業	職に就いたことがない	常勤 (フルタイム)	求職中	その他	無回答
全体(n=2, 219)		54.6	12.6	12.6	6.2	5.4	0.7	8.2	7.4
性別	男性(n=871)	58.9	13.7	14.2	3.7	9.4	0.6	4.2	3.3
	女性(n=1, 348)	51.8	11.9	11.5	7.9	2.7	0.7	10.8	10.1
年齢別	65歳～69歳(n=341)	35.5	29.0	13.8	1.8	18.5	0.6	5.6	1.5
	70歳～74歳(n=422)	53.1	22.3	14.5	3.3	7.3	0.9	8.5	1.4
	75歳～79歳(n=535)	57.0	10.8	14.4	6.0	2.8	1.1	8.8	5.8
	80歳～84歳(n=421)	61.0	3.3	11.6	8.8	1.2	0.2	9.7	10.2
	85歳以上(n=500)	60.8	2.8	9.0	9.8	1.0	0.4	7.8	16.0

65歳～74歳の過半数は就労している。

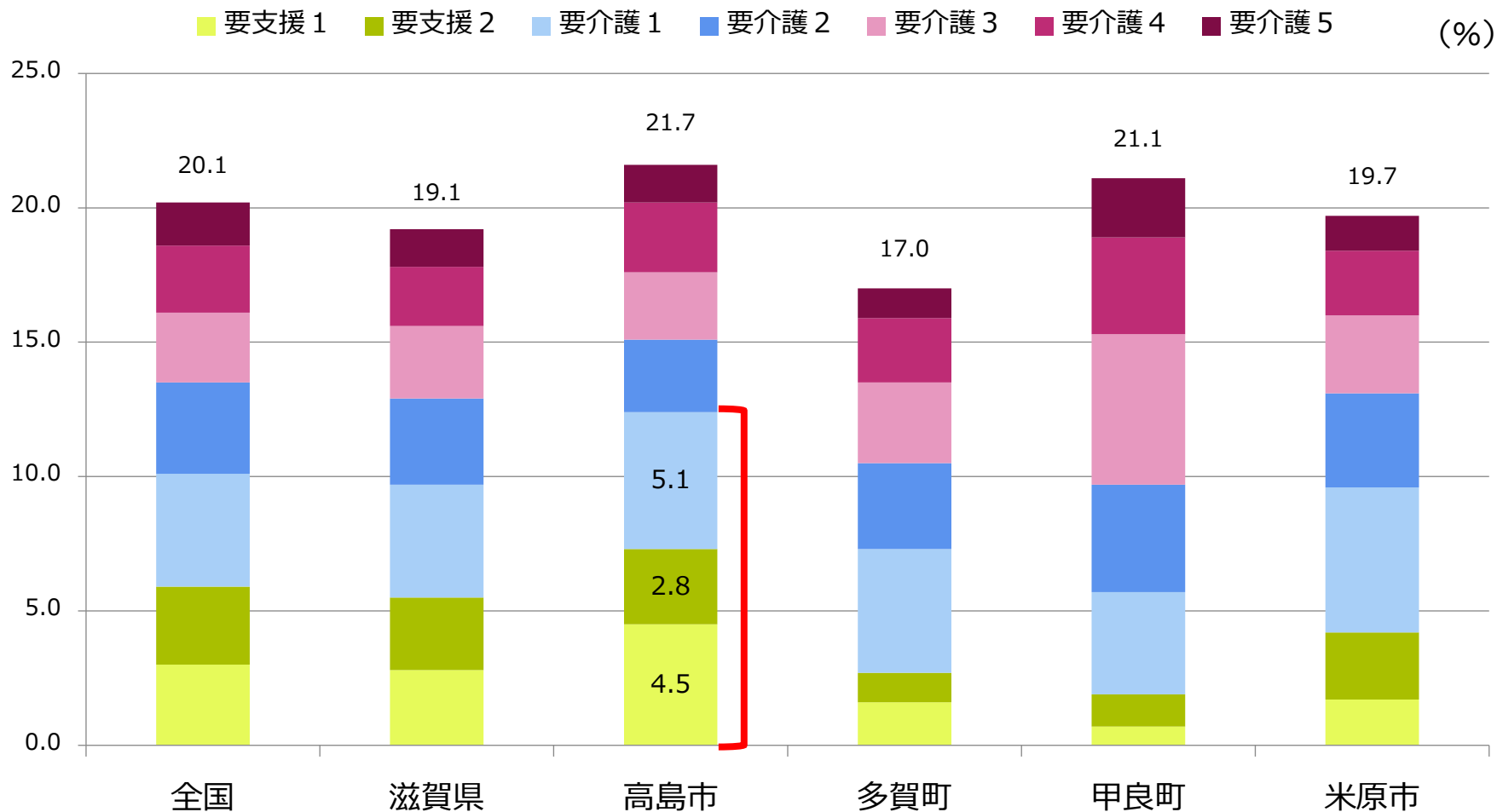
出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（R8）

【要支援・要介護認定者数の推移】



出典：介護保険「見える化システム」

【要支援・要介護認定率（R7）】



出典：介護保険「見える化システム」

高島市は同様の高齢化率の地域と比べて要支援1から要介護1の軽度認定者が多い。

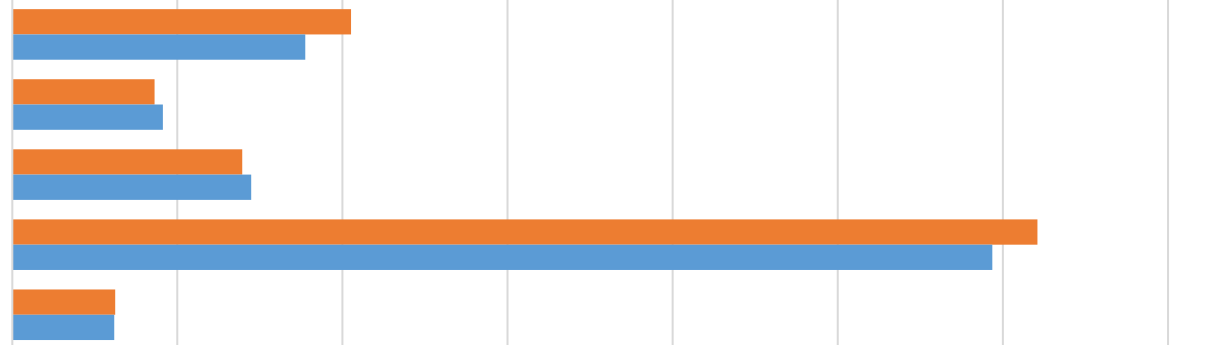
【要支援認定者のサービス利用内容】

(回)

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000 3,500

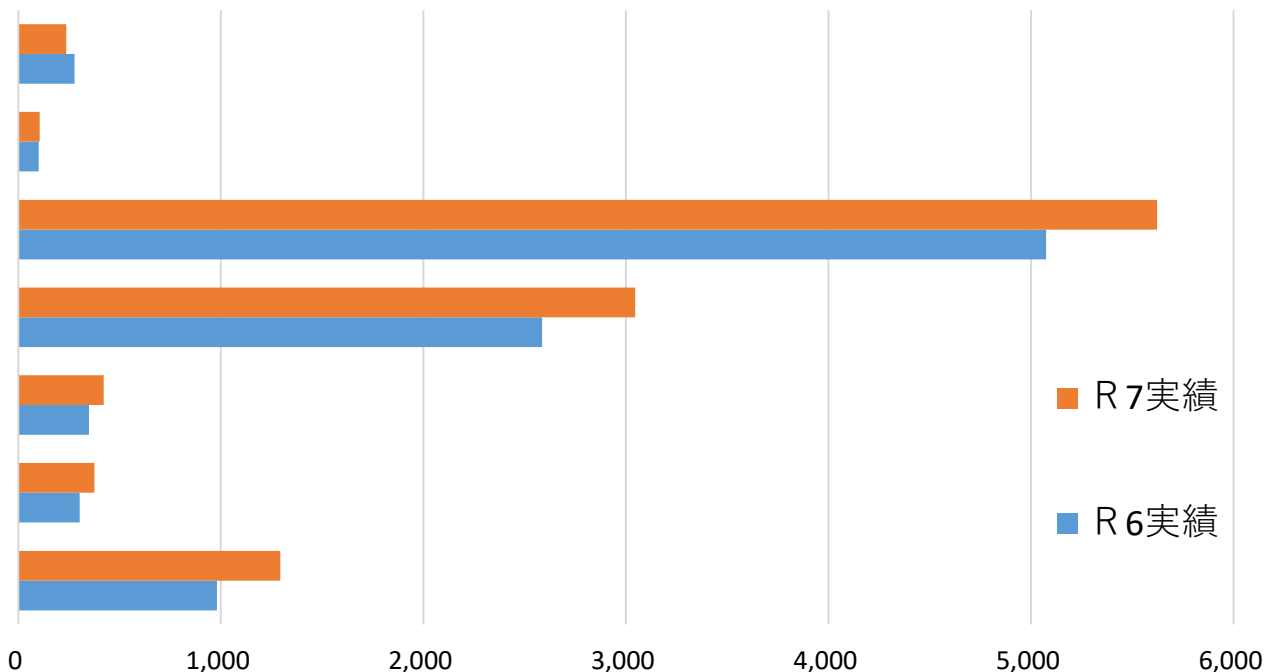
地域支援事業

訪問型サービス(従前相当)
訪問型サービスA
訪問型サービスB
通所型サービス(従前相当)
通所型サービスA



介護予防サービス

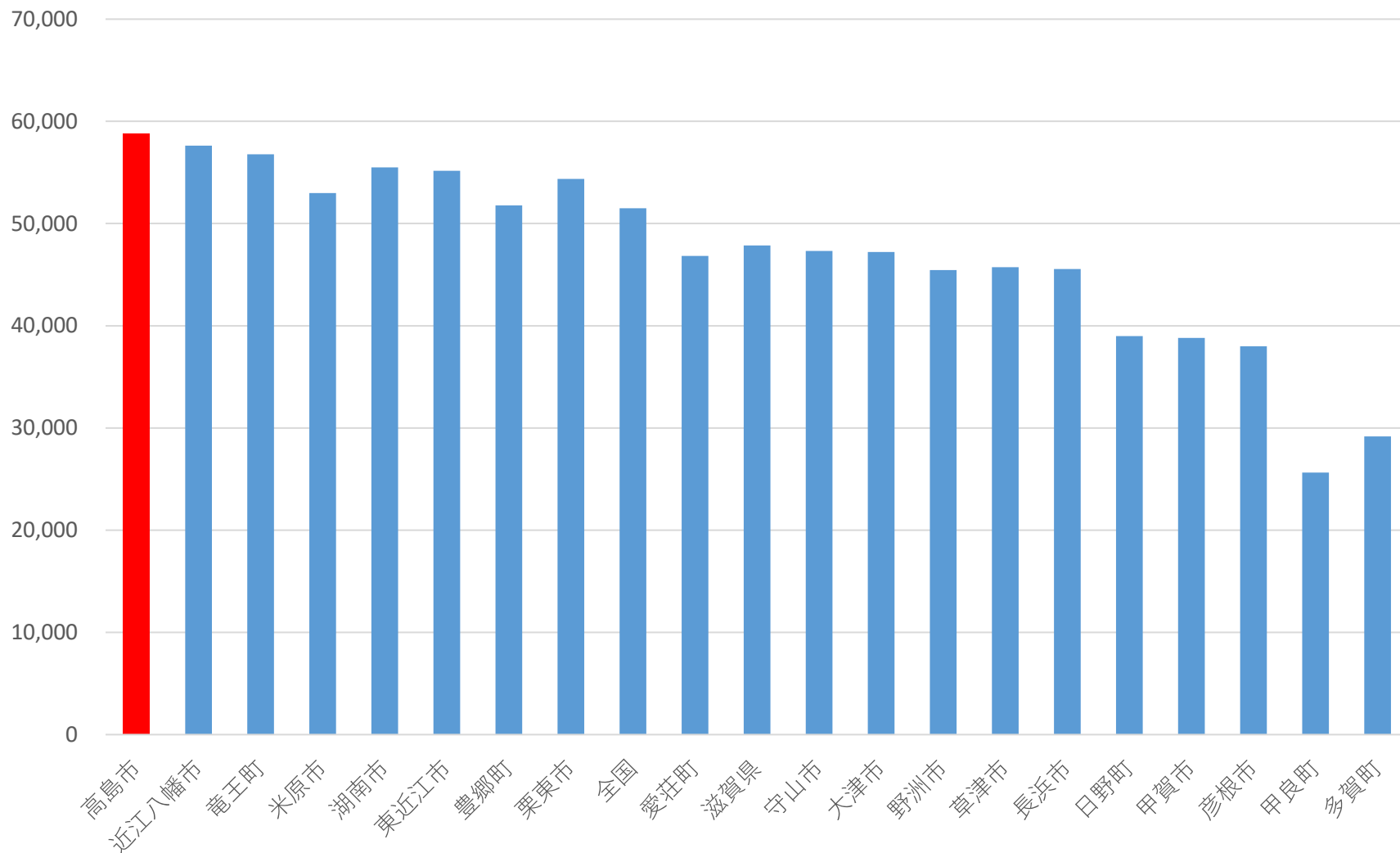
介護予防小規模多機能型居宅介護
介護予防住宅改修費
介護予防福祉用具貸与
介護予防通所リハビリテーション
介護予防居宅療養管理指導
介護予防訪問リハビリテーション
介護予防訪問看護



■ R7実績

■ R6実績

【要支援認定者の受給者一人あたり給付費】



出典：介護保険「見える化システム」

【介護保険事業計画～第9期から第10期への転換】

項 目	第9期(R6～R8年度)	第10期(R9～R11年度)
基本的な考え方	地域包括ケアシステムの深化・推進	2040年を見据えた持続可能な地域包括ケアの構築
介護予防	フレイル予防・重度化防止の推進	健康づくりとの一体化、より早期からの予防
総合事業	サービスBや住民主体活動の普及	地域資源を活用した生活支援体制の強化
担い手	ボランティア等の活用促進	多様な主体による支え合いを地域の基盤として定着
地域包括支援センター	相談支援中心	地域づくりのコーディネーター

【第１０期介護保険事業計画に向けて】

『地域資源を活用した生活支援体制の強化』

要 素	具 体 例
人的資源	医師、歯科医師、薬剤師、リハビリ職、民生委員、高齢者ボランティア、退職者 等々
場 所	医療機関、介護事業所、公民館、商店街、スポーツ施設、温泉施設、寺社 等々
活 動	介護予防教室、サロン、子育て支援、見守り活動 等々

これらをどう活用し、コーディネートしていくか

⇒地域包括支援センターの役割

<グループワーク 2>

～高齢者が活躍する地域づくりへ～



テーマ：

～高齢者の課題を解決するために、
地域包括支援センターは何をすべきか～

住み慣れた地域で暮らし続けるために何が必要か、
「具体的なアイデア」と「既存の資源の活用方法」
についてご意見お願いします！

<グループワーク 2> ～高齢者が活躍する地域づくりへ～



グループA

「医療・健康関連資源の活用」

グループB

「生活支援・地域資源の活用」

グループC

「高齢者が地域の担い手になるための仕組み」